

平成29年12月12日

施設課作成

第18回はだのクリーンセンター環境運営委員会議事録要旨

1 日時

平成29年11月30日(木)午後1時30分から午後2時30分まで

2 場所

秦野市伊勢原市環境衛生組合 はだのクリーンセンター3階小会議室

3 出席者

- (1) 委員(9名)
- (2) オブザーバー(1名)
- (3) 事務局(4名)

4 内容

(1) はだのクリーンセンター環境運営委員会による視察報告について

平成29年11月8日(水)に実施した、静岡県内にあるリサイクル施設「株式会社エフピコ東海選別センター」及びリサイクルを積極的に導入している施設「株式会社ヤクルト本社富士裾野工場」を視察した旨を報告した。

(2) はだのクリーンセンターにおける各種実績データについて

ア 平成29年度10月までにおける可燃ごみの搬入量、焼却量、焼却灰搬出量、各種測定結果(排ガス、放射能濃度、周辺環境)を報告すると共に、各種測定結果については、全て基準値を下回る良好な数値であったことを説明した。

イ 臭気の測定方法はどのような形式で行っているのか、との質問に対し、専用の吸入器を使用し空気を採取し、資格のある臭気判定士により臭気の数値化を行っている、と説明した。

ウ 住んでいる場所の周辺で臭いがした場合はどうすればよいか、との質問に対し、臭いが確認されたら二市組合施設課まで連絡をいただければ、

職員が現場に伺い確認をすると説明した。

(3) 排ガス中の放射性セシウムについて

ア はだのクリーンセンターで実施している排ガス中の放射性セシウムの測定について平成29年度をもって終了とする旨の提案を行い、はだのクリーンセンターの放射能測定結果と環境省等の技術資料及び調査資料を基にバグフィルターを備えた施設では排ガス中には放射性物質が残らないことを説明し、今後は排ガスの放射能測定の代わりにばいじん濃度計、焼却灰の放射性セシウム測定及びはだのクリーンセンター周辺空間放射線量の測定結果を注視していき、周辺住民の方の安全確保に努めていきたいと説明した。

イ 放射性セシウムは今後も減少していくのか、との質問に対し、環境省の資料を基に、放射性物質の半減期により放射性セシウムも含めて放射性物質は年月の経過とともに減少して行くことを説明した。

ウ 焼却灰の放射能測定も終了の考えがあるのか、との質問に対し焼却灰の放射能測定は法律で定められていること、焼却灰の資源化施設でも放射能の測定値を求められることから、今後も焼却灰の放射能測定は継続して行くことを説明した。

エ 秦野市が市内各地でおこなっている空間放射線量の測定は今後も今まで通り測定するのか、との質問に対し秦野市内でも放射線量の数値が減少しており東日本大震災前の状況になってきている。今後は測定箇所・回数を減らしていくと説明した。(秦野市環境産業部環境保全課長回答)

オ 一般の家庭ごみから放射能が発生する可能性があるのか、との質問に対し、一般の生活で発生するごみでは殆どないことを説明した。(秦野市環境産業部環境保全課長回答)

カ はだのクリーンセンター排ガス放射能測定の終了についてオブザーバーとして意見があるか、との質問に対し焼却灰の放射能の測定数値も下がっており、排ガスの放射能の測定数値も未検出であることから問題ないと説明した。(神奈川県湘南地域県政総合センター環境部環境調整課長回答)

(4) その他

ア はだのクリーンセンター非常放送設備試験について

年1回実施している、はだのクリーンセンターに設置してある非常

放送設備の試験放送と併せて、はだのクリーンセンターにおいて事故等の重大事態を想定した近隣自治会や関係部署・秦野市内の公共施設等への伝達訓練を来年1月頃に実施する予定であることを報告した。

イ 「リユースもったいないDay！」の実施状況について

11月19日(日)に秦野市・伊勢原市・二市組合の三者共催にて開催した「リユースもったいないDay！」の実施状況について約800の方が参集され、好評であったことを報告した。(秦野市環境産業部環境資源対策課長報告)